

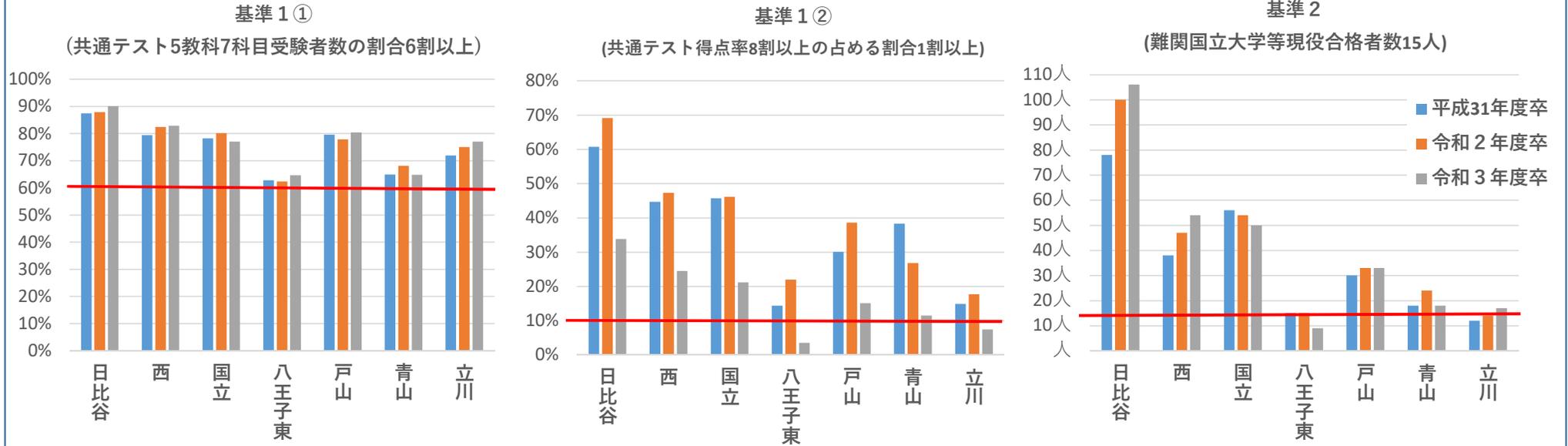
○都教育委員会は、進路指導を中心とした様々な教育活動を組織的、計画的に展開する学校の中から、進学指導重点校、進学指導特別推進校、進学指導推進校を指定し、進学における目標の達成に資するため、教員の育成や生徒への支援を実施している。

○現在の指定校の指定期間である5年間（平成30年度から令和4年度）が終了するため、選定基準や進学実績、進学指導の取組状況等を総合的に勘案し、指定要綱に基づき、下記のとおり次期指定校を定める。（次期指定期間：令和5年度から令和9年度まで）

区分	指定の考え方	現在の指定校	次期指定校
進学指導重点校	<p>○選定基準に基づく過去3か年の審査結果を踏まえるとともに各学校の取組の状況などを総合的に勘案し指定する。</p> <p><u>&lt;選定基準&gt;（現役生を対象）</u></p> <p><u>〔基準1〕センター（共通テスト）試験結果</u></p> <p>(1)5教科7科目で受検した者の在籍者に占める割合がおおむね6割以上</p> <p>(2)おおむね8割以上の得点水準の者の受験した者に占める割合がおおむね1割以上</p> <p><u>〔基準2〕難関国立大学等※合格者数15人</u></p> <p>※東大、京大、一橋大、東工大、国公立大学医学部医学科</p>	<p><b>7校</b></p> <p>日比谷、西、国立、八王子東、戸山、青山、立川</p>	<p><b>7校</b></p> <p><b>（引き続き指定）</b></p> <p>日比谷、西、国立、八王子東、戸山、青山、立川</p>
進学指導特別推進校	<p>○生徒の進学希望を実現するため、優れた教育活動を実践するとともに、生徒の着実な学力の伸長を図り、<u>その結果として進学指導重点校に次ぐ大学合格実績をあげる学校の中から、各学校の取組状況等を総合的に勘案し指定する。</u></p>	<p><b>7校</b></p> <p>小山台、駒場、新宿、町田、国分寺、国際、小松川</p>	<p><b>7校</b></p> <p><b>（引き続き指定）</b></p> <p>小山台、駒場、新宿、町田、国分寺、国際、小松川</p> <p>*令和9年度までの間に、進学指導重点校の選定基準の達成が認められる場合には、追加指定を検討する。</p>
進学指導推進校	<p>○生徒の進学希望を実現するため、優れた教育活動を実践するとともに、生徒の着実な学力の伸長を図り、<u>その結果として進学指導特別推進校に次ぐ大学合格実績をあげる学校の中から、地域ニーズ、地域バランスや学校の取組状況等を総合的に勘案し指定する。</u></p> <p><u>○現指定校に加え、特別推進校に次ぐ大学合格実績等を上げている上野、昭和高校を新たに指定する。</u></p>	<p><b>13校</b></p> <p>三田、豊多摩、竹早、北園、墨田川、城東、武蔵野北、小金井北、江北、江戸川、調布北、日野台、多摩科学技術</p>	<p><b>15校</b></p> <p>三田、豊多摩、竹早、北園、墨田川、城東、武蔵野北、小金井北、江北、江戸川、調布北、日野台、多摩科学技術、<b>上野、昭和</b></p>

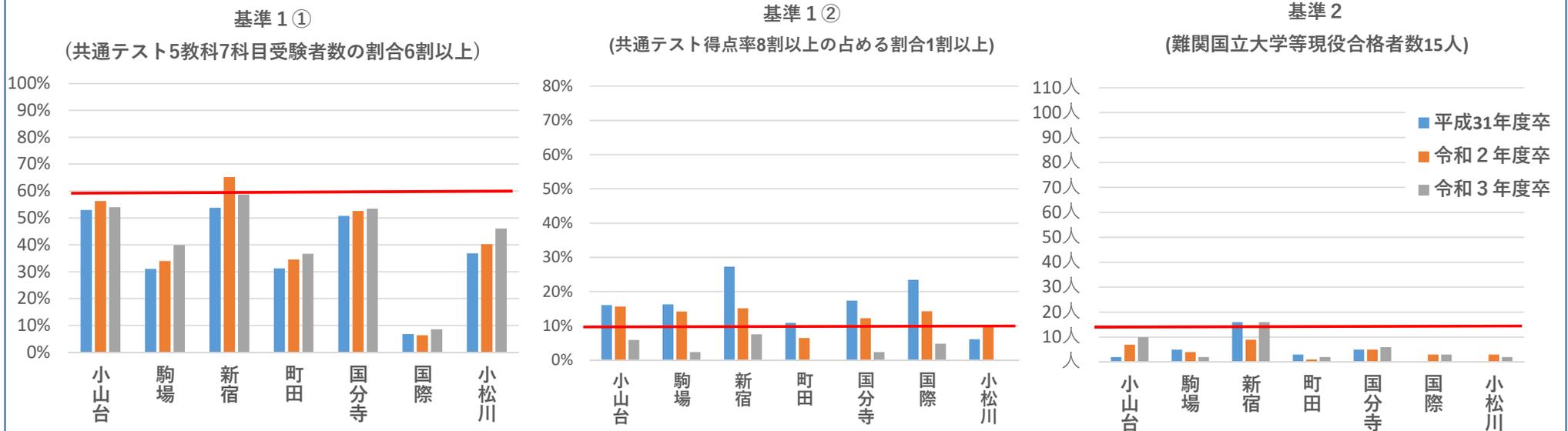
# 進学指導重点校における選定基準適合状況

## 進学指導重点校



\* 令和4年度入試は、共通テストが前年度と比較して難化し、全国平均点が文系・理系とも50点程度下がった

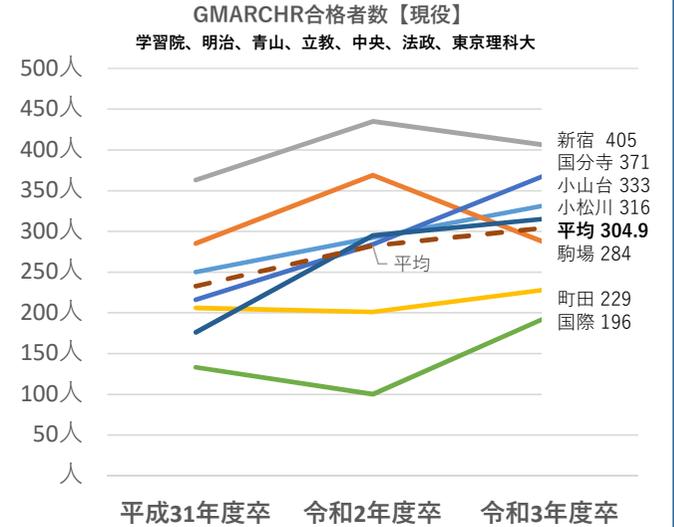
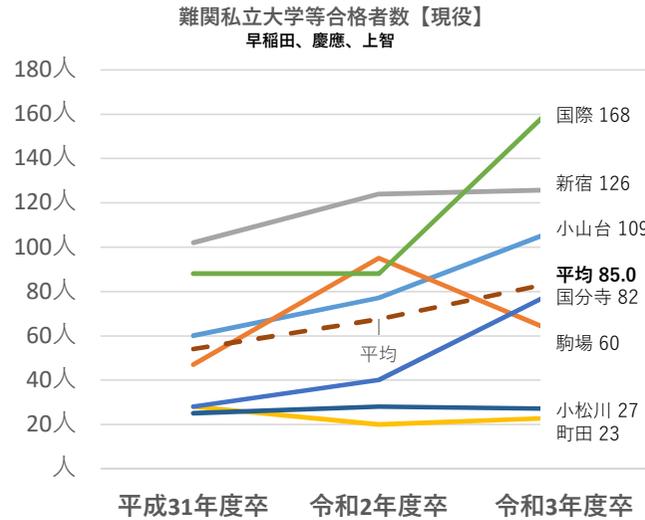
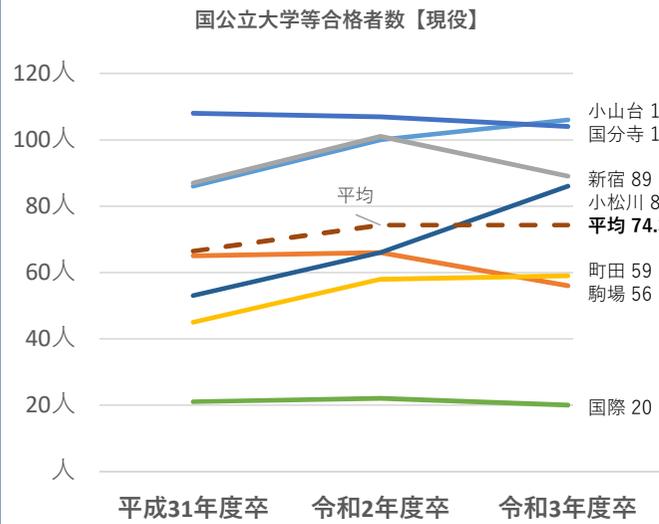
## (参考) 進学指導特別推進校



\* 令和4年度入試は、共通テストが前年度と比較して難化し、全国平均点が文系・理系とも50点程度下がった

# 進学指導特別推進校及び進学指導推進校における大学合格者数の状況

## 進学指導特別推進校



## 進学指導推進校

